

公務員試験 ジャーナル

第43巻 臨増2号
2022年1月24日発行

特集
①

2021年度(令和3年度)国家一般職高卒／税務職員採用試験 国家一般職の申込者数、減少傾向続く

特集①では、共通の問題で試験が行われた国家一般職(高卒者)採用試験と税務職員採用試験の実施結果について、2021年11月に公表されたデータをもとに、その動向を追ってみる。

国家一般職(高卒者)採用試験

全体の状況(資料1)を見ると、申込者数は12,970人(前年度13,824人、前年度比93.8%)に減少したのに対し、最終合格者数は3,118人(前年度3,075人、前年度比101.4%)と微増した。女性の最終合格者数は1,116人(前年度1,002人、前年度比111.4%)と大幅に増加し、合格者に占める女性の割合は35.8%(前年度比3.2ポイント増)と上昇した。

区分別に見ると、事務区分は、申込者数が1,000人以上減少したにもかかわらず最終合格者数は前年度と同数であったため、競争率は前年度より0.5ポイント低い5.1倍となったものの、依然として厳しい争いとなった。技術区分は、申込者数が増加したものの最終合格者数は横ばいだったことか

ら、競争率は前年度より0.2ポイント高く1.9倍となった。農業土木区分は、申込者数・最終合格者数とも増加し、競争率は前年度より低下、林業区分は、申込者数減少・最終合格者数微減のため、競争率は前年度と同値であった。

なお、事務区分および技術区分の地域別の実施結果については、資料2を参照してほしい。

税務職員採用試験

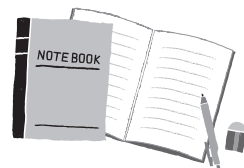
全体の状況(資料1)を見ると、申込者数は7,239人(前年度7,210人、前年度比100.4%)と微増、最終合格者数は1,809人(前年度1,672人、前年度比108.2%)と増加したため、競争率は前年度より0.3ポイント低い4.0倍となった。女性の最終合格者数は728人(前年度659人、前年度比110.5%)に増加し、女性の割合は40.2%(前年度比0.8ポイント増)と4割を超えた。

なお、試験区分別の実施結果については、資料3を参照してほしい。

資料1 ● 2021年度(令和3年度) 国家一般職(高卒者)／税務職員採用試験実施結果

試験区分	申込者数(人)		最終合格者数(人)		競争率(倍)	採用予定数(人)	
	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性			
国家一般職高卒	事務	11,187	4,149 (37.1%)	2,187	990 (45.3%)	5.1	1,125
	技術	1,387	195 (14.1%)	728	99 (13.6%)	1.9	430
	農業	実施なし					
	農業土木	255	29 (11.4%)	157	21 (13.4%)	1.6	40
	林業	141	26 (18.4%)	46	6 (13.0%)	3.1	30
	合計	12,970	4,399 (33.9%)	3,118	1,116 (35.8%)	4.2	1,625
税務職員	7,239	2,232 (30.8%)	1,809	728 (40.2%)	4.0	1,010	

※ () 内は女性の割合。
※競争率=申込者数÷合格者数。



資料2 ● 2021年度（令和3年度）国家一般職（高卒者）採用試験区分別実施結果

(人)

試験区分		申込者数		一次合格者数		最終合格者数		採用予定数
事務	北海道	619	(256)	119	(52)	95	(46)	55
	東北	952	(399)	190	(90)	135	(71)	70
	関東甲信越	5,784	(1,978)	1,929	(732)	1,376	(583)	680
	東海北陸	545	(212)	219	(92)	155	(72)	70
	近畿	660	(267)	167	(78)	141	(71)	90
	中国	471	(175)	85	(36)	56	(31)	30
	四国	242	(115)	48	(26)	37	(22)	20
	九州	1,497	(607)	236	(107)	170	(85)	95
	沖縄	417	(140)	33	(12)	22	(9)	15
	合計	11,187	(4,149)	3,026	(1,225)	2,187	(990)	1,125
技術	北海道	120	(9)	83	(5)	73	(5)	80
	東北	187	(27)	120	(17)	108	(15)	50
	関東甲信越	360	(53)	209	(35)	155	(28)	135
	東海北陸	129	(20)	88	(11)	67	(9)	30
	近畿	99	(12)	63	(7)	50	(4)	35
	中国	62	(8)	41	(4)	31	(2)	20
	四国	43	(7)	35	(4)	30	(4)	15
	九州	361	(56)	261	(36)	208	(31)	50
	沖縄	26	(3)	7	(1)	6	(1)	15
	合計	1,387	(195)	907	(120)	728	(99)	430
農業	実施なし							
農業土木	255	(29)	185	(22)	157	(21)	40	
林業	141	(26)	61	(10)	46	(6)	30	
国家一般職高卒 合計	12,970	(4,399)	4,179	(1,377)	3,118	(1,116)	1,625	

※（ ）内は女性の内数。

※採用予定数は受験案内公表時の数値で、それぞれ「約～人」の意。

※農業土木、林業は事務局（所）単位ではなく、全国単位で募集している。

資料3 ● 2021年度（令和3年度）税務職員採用試験区分別実施結果

(人)

試験区分	申込者数		一次合格者数		最終合格者数		採用予定数
北海道	246	(76)	86	(30)	48	(19)	40
東北	530	(183)	207	(75)	136	(57)	65
関東甲信越	2,184	(631)	1,132	(344)	667	(252)	380
東海北陸	904	(282)	390	(143)	200	(94)	140
近畿	1,054	(255)	503	(135)	304	(99)	155
中国	745	(228)	381	(123)	171	(77)	75
四国	393	(120)	123	(39)	70	(25)	50
九州	953	(393)	348	(144)	193	(95)	80
沖縄	230	(64)	40	(12)	20	(10)	25
税務職員 合計	7,239	(2,232)	3,210	(1,045)	1,809	(728)	1,010

※（ ）内は女性の内数。

※採用予定数は受験案内公表時の数値で、それぞれ「約～人」の意。

2021年度（令和3年度）国家専門職／特別職採用試験 入国警備官は採用数大幅減の影響が大きい

特集②では、国家専門職採用試験と特別職採用試験の実施結果について、公表値を取りまとめた資料をもとに振り返る。なお、特別職のうち防衛省職員については、国家一般職（高卒者）採用試験合格者から採用されるため割愛する。また、税務職員については特集①を参照してほしい。

国家専門職採用試験

2021年12月現在、人事院より最終合格者数が公表されている国家専門職採用試験の実施結果（資料4）から動向を見てみよう。なお、職種によっては社会人対象の試験区分があるが、ここでは高卒者対象の試験にのみ触れる。

●刑務官

刑務官Aは男性、刑務官Bは女性を対象としており、それぞれ一般の採用枠に加えて武道経験者の採用枠がある。また、それぞれ試験地域ごとの採用となっており、個別の実施結果も公表されているが、紙幅の都合上割愛した。

まず一般採用枠となる刑務官Aと刑務官Bについて述べる。刑務官Aは申込者数2,758人（前年度3,308人、前年度比83.4%）、最終合格者数は505人（前年度494人、前年度比102.2%）。刑務官Bは申込者数937人（前年度1,136人、前年度比82.5%）、最終合格者数は229人（前年度276人、前年度比83.0%）。競争率は、申込者減・最終合格者増の刑務官Aが5.5倍（前年度比1.2ポイント減）、申込者・最終合格者とも減少の刑務官Bが4.1倍（前年度と同）であった。

武道経験者採用枠となる刑務官A（武道）と刑務官B（武道）は、どちらも申込者数が増加したため、競争率が上昇した。刑務官A（武道）は、申込者数420人（前年度366人、前年度比114.8%）、最終合格者数は175人（前年度156人、前年度比112.2%）、競争率2.4倍（前年度比0.1ポイント増）。刑務官B（武道）は、申込者数82人（前年度71人、前年度比115.5%）、最終合格者数38人（前年度43人、前年度比88.4%）、競争率2.2倍（前年度比0.5ポイント増）。

●皇宮護衛官

申込者数は388人（前年度419人、前年度比

92.6%）、最終合格者数は23人（前年度21人、前年度比109.5%）となった。申込者数は減少したが最終合格者数はほぼ横ばいだったため、競争率は16.9倍（前年度比3.1ポイント減）と低下した。

●入国警備官

採用予定数が前年度の約6分の1に減少し、過去5年間で最少に。申込者数は1,876人（前年度2,675人、前年度比70.1%）、最終合格者数は60人（前年度393人、前年度比15.3%）。最終合格者数の急減により、競争率は31.3倍（前年度比24.5ポイント増）と大幅に上昇した。

●海上保安学校学生

現時点で最終結果が出ているのは、船舶運航システム課程、情報システム課程、管制課程、海洋科学課程である。最終合格発表前の航空課程については、本稿では触れない。

✓船舶運航システム課程 申込者数3,159人（前年度比95.4%）、最終合格者数545人（同比98.0%）、競争率5.8倍（同比0.2ポイント減）。

✓情報システム課程 申込者数153人（前年度比78.5%）、最終合格者43人（同比68.3%）、競争率3.6倍（同比0.5ポイント増）。

✓管制課程 申込者数106人（前年度比127.7%）、最終合格者数25人（同比96.2%）、競争率4.2倍（同比1.0ポイント増）。

✓海洋科学課程 申込者数97人（前年度比112.8%）、最終合格者数23人（同比127.8%）、競争率4.2倍（同比0.6ポイント減）。

特別職採用試験

2021年12月現在、各機関より最終合格者数が公表されている特別職採用試験の実施結果（資料4）より動向を見てみる。なお、国会図書館一般職高卒については、2021年度試験が実施されなかった。

●裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）

裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）は採用管轄区域別に実施結果が公表されている。これによると、最も競争率が高かったのは福岡高等裁判所の管轄区域の46.9倍（前年度比9.1ポイント増）で、前年度最も高競争率だった大阪高等裁判所の管轄

区域は41.3倍（同比15.8ポイント減）と大幅に低下した。一方、最も倍率が低かったのは高松高等裁判所の管轄区域で、16.8倍（同比0.9ポイント増）であった。

全体を見ると、申込者数は4,733人（前年度4,746人、前年度比99.7%）、最終合格者数は158人（前年度162人、前年度比97.5%）と、どちらもほぼ前年並み。競争率は30.0倍（前年度比0.7ポイント増）と若干上昇した。

●衆議院一般職（高卒）

申込者数は942人（前年度比92.2%）、最終合格者数は8人（同比72.7%）となった。最終合格

者数を絞ったことで競争率は117.8倍（同比24.9ポイント増）に達し、前年以上に厳しい争いとなっている。

●衆議院衛視

申込者数は451人（前年度比100.7%）、最終合格者数は6人（前年度比85.7%）となった。申込者数微増・最終合格者数微減により、競争率は75.2倍（前年度比11.2ポイント増）と、前年度より上昇した。

資料4 ● 2021年度（令和3年度）国家専門職・特別職（高卒程度試験）実施結果

職種・試験区分等		申込者数(人)	一次合格者数(人)	最終合格者数(人)	競争率(倍)	採用予定数(人)	
国家専門職	刑務官	刑務A 全地域合計	2,758	1,071	505	5.5	
		刑務B 全地域合計	937 (937)	433 (433)	229 (229)	4.1	
		刑務A・B 合計	3,695 (937)	1,504 (433)	734 (229)	5.0	
		刑務A（武道）全地域合計	420	214	175	2.4	
		刑務B（武道）全地域合計	82 (82)	41 (41)	38 (38)	2.2	
		刑務A・B（武道）合計	502 (82)	255 (41)	213 (38)	2.4	
	皇宮護衛官（高卒）	388 (125)	138 (50)	23 (5)	16.9	20	
	入国警備官	1,876 (548)	102 (22)	60 (18)	31.3	30	
	海上保安学校学生	船舶運航システム課程	3,159 (496)	957 (124)	545 (76)	5.8	275
		航空課程	251 (23)	22 (1)			5
情報システム課程		153 (36)	55 (12)	43 (11)	3.6	60	
管制課程		106 (40)	34 (15)	25 (13)	4.2	20	
海洋科学課程		97 (24)	32 (5)	23 (4)	4.2	15	
合計		3,766 (619)	1,100 (157)			375	
特別職	裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）	札幌高等裁判所の管轄区域	286 (123)	38 (20)	10 (6)	28.6	2
		仙台高等裁判所の管轄区域	454 (204)	46 (19)	15 (11)	30.3	6
		東京高等裁判所の管轄区域	854 (381)	114 (46)	45 (23)	19.0	20
		名古屋高等裁判所の管轄区域	320 (158)	36 (18)	12 (9)	26.7	4
		大阪高等裁判所の管轄区域	537 (202)	51 (18)	13 (6)	41.3	10
		広島高等裁判所の管轄区域	343 (163)	48 (23)	14 (7)	24.5	5
		高松高等裁判所の管轄区域	202 (95)	46 (27)	12 (9)	16.8	4
		福岡高等裁判所の管轄区域	1,737 (740)	137 (49)	37 (16)	46.9	10
		合計	4,733 (2,066)	516 (220)	158 (87)	30.0	61
	国立国会図書館一般職（高卒）			実施なし			
衆議院一般職（高卒）	942 (400)	62 (非公表)	8 (6)	117.8	10		
衆議院衛視	451 (49)	53 (非公表)	6 (1)	75.2	6		

※社会人対象の試験区分は割愛。（ ）内は女性の内数。

※競争率＝申込者数÷最終合格者数。

※採用予定数：受験案内等に記載された数値で、「約～人」の意。

刑務官については、区分別の採用予定数が「若干名」とされている場合は通算できないため、空欄とした。

※刑務Aは男性、刑務Bは女性が対象。刑務官は地域ごとの採用だが、ここでは全地域の合計を掲載。

なお、刑務Bおよび刑務B（武道）の沖繩は実施なし。

『公務員試験ジャーナル』
バックナンバーについて

本年と前年の『公務員試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材 NAVI」
でご覧いただけます。

高等学校のTOPページ（www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/）より、「活用
情報」→「指導情報」をご覧ください。